

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業が立地し、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。

市内企業のものづくり・人づくりを紹介！
企業のちから

No17 The company in Shirakawa

明陽食品工業(有)
Meiyo-Foods Co., Ltd.

住所：大信限戸字中島40
事業内容：ジャム、ゼリー、ドレッシング等の製造・販売・受注加工



地産地消にこだわり、「おいしさ」と「愛情」をたっぷりと瓶に詰め込む



- 1 ジャムのほか、ゼリー、トマトソース、ドレッシング、ジンジャーシロップ、なたね油などを製造しています。
- 2 緑が豊富な工場周辺。閑静な環境の中で製品が作られています。
- 3 取締役の井上さん。原料の生産者とのつながりをとても大切にしています。
- 4 清潔に保たれた工場内。県南衛生協会から「食品衛生優良施設」の表彰を受けています。
- 5 瓶詰め作業の様子。おいしさに加え、製品への愛情が込められています。
- 6 原料の梅や桃の種は、廃棄せず炭として製品化。消臭や脱臭、調湿に優れています。

エコ製品を選んで買おう
白河市はチャレンジ25キャンペーンに参加しています。

白河市民への愛がいっぱい

全国から多くの義援金・寄附金が届きました。ここでは、7月19日から8月15日までの提供者をご紹介します。義援金・寄附金は、被災者の支援と本市の復興のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

8月16日以降の義援金・寄附金は、次号でお伝えします。

- (株)サン・ベンディング白河様
- 極真会館門馬道場 師範 門馬智幸様
- 世田谷区長 保坂展人様

《仮設住宅等支援者をご紹介します》
(7月22日～8月21日)

- 日本カイロプラクターズ協会様
- とちぎYMCA様
- 県南木もれび倶楽部 代表 山本光子様
- 公益財団法人 都市緑化機構 理事長 輿水肇様

「私たちの会社は、農産物の加工品を製造しています。“作り手の顔が見える物づくり”をモットーに、原料調達から製造・瓶詰め・出荷まで、すべて自社で行っています」と話す取締役の井上美由紀さん。

明陽食品工業は、平成13年に旧大信村で創業。農産物を加工して、ジャムやゼリー、ドレッシング等の製造・販売、受注加工を行っています。

原料とする素材には、地元や県内産（一部国内産）を使用しています。原発事故による風評の影響は少なからずあるものの、地産地消に強い信念を持ち続け、震災以降は原料の搬入前と加工後に、放射性物質の検査を行い安全性を確認。素材の持ち味とおいしさを大切に、愛情を込めてひと瓶ひと瓶、丁寧に製品化しています。代表的な製品の、梅・ヤーコン・りんごジャムは市が認証する「白河ブランド」に、桑の実ジャムほか4品は「福島県観光みやげ品推薦品」に選定されています。「お客さんの要望で製品開発を行うこともあります。その際は、お客さんとよく話し合い、二人三脚でより良い製品づくりを心掛けています。今後は、農業後継者の方と新製品の開発をしたいと考えています。地域の原料を生かした製品づくりを通じて、地域の元氣や勇気を発信していきます」と井上さんにはにこやかな笑顔で話してくれました。

Introduction of the cover 今月号の表紙

今月号の表紙は、白河関まつりでの「白河関の踊り流し」の様子です。今年には17団体、約750人が参加し、白河駅前の1周約1kmのコースで、約1時間にわたって踊りが披露されました。沿道には大勢の来場者が詰め掛け、団体ごとの色鮮やかな衣装での舞いを楽しみました。



「いいね！」を押して市の情報をチェック



白河市公式ページ



<https://www.facebook.com/city.shirakawa>